

大方高校寄宿舎 男女共に整備進む

■大方高校学生寮建築設計業務委託 555万円

■大方高校魅力化推進協議会補助金 670万円

例年の倍の予算となっている。これは、昨年まで寄宿舎が下田の口の1棟のみだったが、令和4年度から錦野でも借り受けて寄宿舎が2棟になることによるもの。

Q 2棟の寄宿舎の内容と、女子の寮生はサッカー関係が主か。

また、高校全体の定員の状況は。

A 寄宿舎については、下田の口が男子用、錦野が女子用と考えている。

現状、男子は1名から2名、女子は8名ほど。

女子はサッカーがほとんどだが、地域未来留学という枠で全国に募集をかけた関係の方が2、3名ほどいる。

また、高校の定員の状況は、厳しいものがあり、ここ数年、全学年合わせ90名前後で推移している。令和4年度は全体的に生徒数が少ない年となっており、大方高校だけでなく厳しい状況となっている。

このため、魅力化推進協議会を立ち上げて、公設塾や女子サッカーなどで魅力化に取り組んでいる。また、地域未来留学

で全国から学生を呼び込む取り組みも計画している。

■大方高校寄宿舎備品 154万円

下田の口の「しらゆり」

を3番目の寄宿舎として借り上げようとした場合、令和5年度中の供用開始を目指すためには令和4年度中に机やベッドなどの配備が必要となっているためのもの。



錦野団地内に整備された寄宿舎の食堂。
奥側中央部がキッチンルーム

産業 建設 厚生

常任委員会

入野松原の再生へ、 現地調査と再生計画を策定

Q 計画策定目的及び保全対象範囲は。再生計画を策定し再生・保全に努めていく。

A これまでの防除や伐倒駆除対策の検証と松枯れの原因を調査し、松原範囲は、国有林、県有林、町有林一帯で関係機関連携のもと取り組む。



委員長の野のぶ 依伸 矢野

今回、本委員会に付託された20議案は、審査の結果、令和3年度国民健康保険直診特別会計補正予算議案は賛成多数、その他19議案は全会一致で可決すべきものとなった。

令和4年度 一般会計当初予算

「入野松原再生計画」 を策定

■入野松原再生計画現地調査委託料 100万円

■入野松原再生計画策定委託料 300万円



入野松原全景（野球場方面から）